

個人質問

9月定例会市議会では、三十三人の議員が、議案や市政全般についての質問を行いました。その中からいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

一般・行財政



台風被害者に対し 融資の金利補助実施へ

問 沿岸部に高潮による浸水被害等をもたらした台風16号・18号の被害者に対する本市の

支援策は、教訓をどう生かすのか。

答 被災に応じ必要な支援をより多く行う観点から、見舞金ではなく、融資に対する金利補助を考えている。また、その



台風16号で冠水被害を受けた久々井地区

融資に所得や対象等の制限がある現状から、その問題解決を図りたい。避難場所や排水設備等の防災施設の見直しを検討するとともに、現在本市に百八十九ある自主防災会の新たな結成に努め、災害時要援護者の支援体制等を確立したい。また、高潮災害も想定し、自主防災会を中心に住民参加型の総合防災訓練を促進したい。

玉野市との 合併協議会設置問題

問 玉野市との合併協議会設置議案について、玉野市からの意見照会に対し付議しないとの回答をしなければ理由が、本市議会が可決し玉野市議会が否決した場合の法定手続きは、

答 協議会設置に賛同した九千三十一人も玉野市民の声を尊重し判断したもので、本市としては玉野市も含め周辺市町村からの申し出には門戸を開いて検討する考えであり、政令市実現に向け最大限努力したい。玉野市長の請求が有権者の六分の一以上の署名による直接請求があれば住民投票を実施し、有効投票数の過半数の賛成があれば玉野市議会が可決したものとみなして法定協議会が設置される。

指定管理者制度 運用方針を策定へ

問 公の施設の管理に指定管理者制度が導入され一年が経過

したが、今後の手続き等の明確化に向け指針を策定する考えは、対象となる委託施設は、

答 平成18年4

月からの公の施設の管理・運営に向け、手続き等を規定した運用方針の策定に取り組んでおり、その中で制度導入の適否や公平かつ適正な選定の判断基準を示したい。導入済みの委託施設を除き、ふれあいセンターやコミュニティハウスなど百八十五カ所が対象になると考える。

岡南環境センター北側用地 民間事業者へ賃貸

問 西部リサイクルプラザの用地として本市土地開発公社が先行取得した岡南環境センター北側用地を、事業用地として民間に貸す。目的は、内容は、

答 用途変更の話があり、本市として厳しい財政状況下で、当面公社からの用地買い戻しが困難であり、その間にも公社が払う借入金利息がかさむことから、公社から民間に賃貸させ収益を上げること、将来市が買い戻すときの負担を軽減しようとするものだ。十年間の事業用



民間事業者への賃貸が予定される
岡南環境センター北側用地

水道料金改定 市民生活への影響抑制を

定期借地として一般から募集し、高い賃料を提示した業者に賃貸し、十年後には更地として返却してもらったものだ。

問 平成17年4月に改定予定の水道料金は基本水量制の廃止により一カ月当たり八立方メートルのところの値上げ幅が最大となるが、一人暮らしの高齢世帯等への影響を極力排除すべきでは、

答 生活用水への配慮から口径十三ミリメートルの基本料金を据え置き、十立方メートルまでの単価を低く設定するとともに、本市の平均的使用水量である二十〜三十立方メートルの使用量に対しては平均改定率以下とするなど影響を極力抑えたい。